

### <事業者の概要>

1. 所在地：岡山県総社市門田70-1
2. 代表者：組合長 秋山 陽太郎
3. 主な品目：白麗、恵白等
4. 主な輸出先国・地域：香港、台湾、シンガポール、タイ、EU諸国等
5. 事業概要：1968年に「日本一のもも作りと高収益・経営安定」を目的に組織。樹が持つ力を最大限引き出す「岡山自然流もも栽培」で高品質なももを生産。事務局は、JA晴れの国岡山。組合員数は13戸、栽培面積は21ha、平均年齢43歳の農業者で構成する生産組合。生産から選果・こん包まで一貫して行う完全共選。



出荷用の箱に詰められたもも



台湾の中秋節商戦に向けた箱詰め作業

### 【輸出の取組内容】

- ターゲットを富裕層とし、アジア圏の中元節・中秋節向けとして白桃を約20品種ラインナップ。現地販売先等から注文多数。
- 直接取引は行わず、輸出に強い大田市場（東京都）や大阪市場本場（大阪市）の仲卸を通じた間接輸出。
- 2018年アラブ首長国連邦及びオマーンへの輸出を開始。同年12月にオマーン大使館で開催されたレセプションに参加し、招待客にももを提供した。

### 【取組経緯】

- 2008年頃から、JA晴れの国岡山（旧JA岡山西）と連携し、香港向けに白桃の輸出を開始。
- 2012年から岡山県の呼びかけに応じて、台湾へのもも輸出を開始。
- 総社市に仲卸である現地合弁会社を紹介され、2018年アラブ首長国連邦及びオマーンへの輸出が実現。

### 【課題と対応方法】

#### ○他産地との競合

→アジアにおける日本産ももの知名度は高いが、他産地との競合を避けるため、ターゲットを中東諸国にした。中東諸国は経済発展が著しく、富裕層が多い地域ながら日本産ももの流通は少なく、市場性も高いことから、新たな市場として開拓した。

#### ○効果的なプロモーション

→海外におけるもものプロモーションで、甘さよりも香りが良いと評価される。岡山産のももは他産地より香りが強い点を売りに、プロモーションを展開。オマーン大使館のレセプションでは、招待客を通してPRを実施。

### 【実績】

輸出額(万円)		輸出国・地域割合(%) 2024年	
2022年	789	香港	60
2023年	950	台湾	25
		シンガポール	10
2024年	980	その他	5

### 【今後の事業展開】

- ✓ EU諸国のバイヤーの参加する商談会への参加や、現地でのプロモーション活動を積極的に行い、市場規模が大きいEUでの販路拡大を図る。
- ✓ アラブ首長国連邦、オマーンへの輸出拡大と、バーレーンなど未輸出国に向けた輸出を目指す。